

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
生理機能検査学Ⅲ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	笹岡 悠一 ※	
授 業 概 要						
政令で定める神経筋機能検査および感覚機能検査を円滑に実施するための知識を修得する。生体機能情報を収集するための理論と実際、そして結果の解析と評価をできるようにする。						
到 達 目 標						
<ul style="list-style-type: none"> ・検査目的の対象となる臓器の構造と機能を説明できる。 ・測定目的、原理、操作方法、アーチファクトを説明できる。 ・測定波形の判読法を学び臨床的意義を説明できる。 ・測定機器の原理、構造を理解できる。 						
回	学 習 内 容				担当教員	
1	脳波：脳の構造と機能、脳波の発生機序、				笹岡 悠一 ※	
2	脳波計（アナログ・デジタル）、電極配置、脳波導出法					
3	脳波検査の実施、脳波波形の基礎事項					
4	正常脳波の変動因子、アーチファクト					
5	異常脳波					
6	脳波賦活法、脳波の分析 臨床脳波の判読					
7	筋電図：筋電図の生理学的基礎、筋電計の構造、測定法				外山 竹弥	
8	普通筋電図（正常波形と特殊波形）、異常筋電図					
9	誘発筋電図、末梢神経伝導検査、H反射					
10	単一線維筋電図検査、反復刺激試験、瞬目反射、その他					
11	平衡機能検査：体平衡機能検査（静的平衡機能検査、動的体平衡機能検査）					
12	眼球運動の検査、前庭性眼振、電気眼振図					
13	聴覚検査：標準純音聴力検査、閾値上検査、自記オージオメトリ					外山 竹弥
14	インピーダンス検査、語音聴力検査、聴性誘発電位					
15	味覚検査、嗅覚検査					竹内 法子
学 習 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書及び配付資料を用いた授業を行う。 ・事前に関連部分の教科書を読んで予習しておくことが望ましい。 						
評 価 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 						
先 修 科 目						
教科書、参考書						
〔教科書〕						
最新臨床検査学講座 生理機能検査学 東條尚子 他 医歯薬出版						
〔参考書〕						
臨床脳波学 第5版 大熊輝雄 著 医学書院						
筋電図判読テキスト 広瀬和彦 著 文光堂						